

サウジアラビア

2022年11月1日
海外調査部・リヤド事務所

2021年のサウジアラビア経済は、OPEC プラスによる協調減産の影響で石油部門が振るわなかったものの、民間などの非石油部門が牽引し、プラス成長に転じた。貿易では、油価の上昇に伴う原油輸出額増加が輸出全体を押し上げ、主要輸出相手国との貿易額が軒並み2ケタの伸びをみせた。対内直接投資額も、サウジアラムコ関連の大型案件により前年比大幅増となった。政府は地域統括会社 (RHQ) 誘致政策と新たな国家投資戦略 (NIS) を発表し、さらなる投資の呼び込みに力を入れる。新型コロナの影響で停滞していた日本企業の進出案件は、エネルギー部門以外の医薬品・医療機器分野での進出がみられた。

■非石油部門が経済全体を牽引しプラス成長

2021年の実質GDP成長率は、新型コロナ感染状況の落ち着きにより、前年のマイナス成長から回復し3.2%となった。3月のイエメンのフーシー派による東部州石油施設攻撃、同月の大型商船エバーギブンのスエズ運河座礁、冬場の欧州エネルギー危機による原油需要の高まりなどにより2021年の油価は世界的に上昇基調となったものの、GDPの39%を占める石油部門は、前年から続くOPECおよびOPECプラスによる協調減産の影響もあり、成長率が0.2%にとどまった。他方で非石油部門では、政府部門 (シェア17.5%) が1.9%、民間部門 (同39.7%) が6.2%と伸びたことで経済全体を牽引した。

2021年の財政支出 (財務省報告書に基づく。推計値) は歳入9,300億サウジ・リヤル (以下、リヤル)、歳出1兆150億リヤルと8年連続での財政赤字となったものの、赤字額が前年の2,940億リヤルから850億リヤルへと大幅な減少となった。低迷していた企業活動の影響で法人税収入が前年比で減少する一方で、物・サービスに対する付加価値税 (VAT) 収入が前年7月の税率改定により41.8%増と大きく増加したことが赤字幅の減少に貢献した。2022年の政府予算は、新型コロナ後の世界経済の回復に伴うエネルギー需要の高まりを見込んで、歳入1兆450億リヤル、歳出9,550億リヤルと2013年以来的黒字予算となった。

■輸出入額はともに主要品目で前年比増

2021年の貿易 (通関ベース、サウジアラビア総合統計庁) は、輸出が前年比58.9%増の1兆356億7,200万リヤル、輸入が10.8%増の5,731億8,500万リヤルとなり、新型コロナ以前の2019年の水準にまで回復した。最大輸出品目である鉱物資源の伸び率が大きく影響し、黒字幅も3.4倍の4,624億8,700万リヤルに拡大した。

輸出を品目別にみると、構成比が1%以上の全品目がいずれも大きく回復した。特に輸出額の7割超を占める鉱物資源・同製品が前年比69.1%増となったことが輸出額全体の最大の押し上げ要因と

なった。鉱物資源に続く輸出品であるプラスチック・ゴム・同製品、化学製品もそれぞれ45.2%増、45.3%増となった。輸入も同じく、経済の回復基調に伴い主要品目でいずれも増加した。

表1 サウジアラビアの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万サウジ・リヤル、%)

	輸出(FOB)				輸入(CIF)				
	2020年	2021年			2020年	2021年			
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率	
鉱物資源・同製品	451,093	762,693	73.6	69.1	機械類・電気機器・同部品	109,094	114,500	20.0	5.0
プラスチック・ゴム・同製品	62,729	91,073	8.8	45.2	車両・航空機・船舶等輸送機器	83,009	86,201	15.0	3.8
化学製品	57,873	84,111	8.1	45.3	化学製品	53,404	60,590	10.6	13.5
車両・航空機・船舶等輸送機器	19,474	23,508	2.3	20.7	車金属・同製品	49,600	53,735	9.4	8.3
車金属・同製品	16,401	22,425	2.2	36.7	野菜類	34,922	34,878	6.1	△ 0.1
機械類・電気機器・同部品	10,966	14,892	1.4	35.8	鉱物資源・同製品	18,613	29,301	5.1	57.4
天然・養殖真珠・宝石・貴金属等	8,555	7,673	0.7	△ 10.3	食料品・飲料・酢・たばこ類	28,418	29,005	5.1	2.1
食料品・飲料・酢・たばこ類	5,846	6,907	0.7	18.1	プラスチック・ゴム・同製品	19,462	21,805	3.8	12.0
生きた動物・動物性生産品	5,369	5,372	0.5	0.1	繊維・同製品	20,018	21,060	3.7	5.2
合計(その他含む)	651,952	1,035,672	100.0	58.9	合計(その他含む)	517,491	573,185	100.0	10.8

[出所] 経済企画省総合統計庁

輸出先を国別にみると、前年から順位に変動はみられず、中国が2位の日本に大きく差を付け、3年連続で1位となった。貿易相手国側からの統計に基づく、中国の対サウジアラビア輸入額の77.0%を占める原油が金額ベースで前年比55.8%増、数量ベースで3.1%増となった。日本は、対サウジアラビア輸入額の91.7%を占める原油が、金額ベースで前年比47.1%増、数量ベースで2.2%減となった。インドと韓国の原油輸入額はそれぞれ43.1%増、46.4%増となった。

輸入では、輸出と同様に中国が引き続き1位で、中国の対サウジアラビア輸出の最大品目である電気機器類の37.4%を占める携帯電話の輸出額が前年比32.4%増と大きく回復した。一般機械類では、パソコンが27.1%増となったが、同分類の主力品目であるエアコンが18.7%減となったことなどから、全体で3.3%の減少となった。輸出額の7.3%を占める自動車は引き続き好調だ。自動車の輸出額の72.6%を占める乗用車は48.6%増、輸送自動車は自動車輸出額に占める割合は6.5%と大きくはないが、2.5倍と大幅に増加した。

2位の米国の対サウジアラビア輸出は、最大品目の自動車が前年からV字回復して15.9%増となった。そのうち乗用車は12.9%増、輸送自動車は29.1%増となった。他方で原子炉・ボイラー等機械類は、最大品目であるターボジェットのうち、ガスタービン部品が前年比で21.9%増加したが、コック・弁が8.5%減となり、全体では15.4%減となった。また、新型コロナウイルスの影響による航空業界の低迷に伴う航空機部品の需要低下により、航空機・同部品の輸出は30.1%減となった。

インドの対サウジアラビア輸出は、最大品目の鉱物性燃料のうち、軽油・同調整品が3.8倍、その他石油・歴青油が3.5倍となったことで、鉱物性燃料全体でも3.6倍と大きく伸びた。また、有機化学品は、最大品目であるベンゼンが前年比72.9%増となったほか、非環式炭化水素が140.1倍と大きく増加したことにより、全体で63.9%増となった。

表2 サウジアラビアの主要国別輸出入<通関ベース>

(単位:100万サウジ・リヤル、%)

	輸出(FOB)				輸入(CIF)				
	2020年	2021年			2020年	2021年			
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率	
中国	120,016	190,911	18.4	59.1	中国	101,562	113,381	19.8	11.6
日本	62,307	102,598	9.9	64.7	米国	55,145	60,549	10.6	9.8
インド	60,208	99,966	9.7	66.0	UAE	34,287	46,770	8.2	36.4
韓国	54,379	87,342	8.4	60.6	インド	24,530	30,277	5.3	23.4
UAE	44,349	56,481	5.5	27.4	ドイツ	26,869	28,093	4.9	4.6
合計(その他含む)	651,951	1,035,672	100.0	58.9	合計(その他含む)	517,492	573,186	100.0	10.8

[出所] サウジアラビア中央銀行

■巨額のアラムコ案件で対内直接投資額は大幅増

2021年の対内直接投資額（国際収支ベース、ネット、フロー）は、前年比3.6倍の723億1,875万リヤルとなった。大幅増加の主な要因は、2021年6月に米国の投資会社EIGグローバル・エナジー・パートナーズ、アラブ首長国連邦（UAE）アブダビの政府系投資会社ムバダラ・インベストメントなどの国際コンソーシアムが、サウジアラムコ子会社のアラムコ・オイル・パイプラインズ・カンパニーの株式49%を124億ドルで取得したことにある。

2021年2月に発表された地域統括会社（RHQ）誘致策（サウジアラビア国内にRHQを置かない外国企業に対して政府調達への参加を認めないとする制度）では、2021年10月末時点で44社の外国企業がサウジアラビアへのRHQ移転を発表した。またサウジアラビア政府は、2021年10月にさらなる投資呼び込みに向けた政策として、国家投資戦略（NIS）を新たに発表した。外国直接投資（FDI）の受入額をGDP比で2021年の1.5%から2030年までに5.7%まで引き上げることなどが盛り込まれている。RHQ制度もこの目標を達成するための一環で、今後、経済特区、規制改革、融資などがインセンティブとして具体化していく見込みだ。

サウジアラビア投資省の発表によると、2021年に外国企業に供与した投資ライセンス数は、前年から3,173件増の4,439件となった。個別案件では、英スタンダード・チャータード銀行による支店開設や、サウジアラムコと仏トタルエナジーズによる合弁のガソリン小売事業、政府系投資ファンドPIF傘下の軍需企業SAMIと仏フィジャック・アエロ（Figeac Aero）らによるSAMI・フィジャック・アエロ・マニュファクチャリング（SAMI Figeac Aero Manufacturing）設立などがある。

■日本の対サウジアラビア貿易は輸出入ともに回復、油価上昇が輸入を押し上げ

日本の「貿易統計（通関ベース）」をドル換算すると、対サウジアラビア輸出額は44億7,300万ドルと前年比5.8%の増加であった。主要輸出品目の乗用車と輸送自動車（バス、トラック）が、ともに前年のマイナスからプラスに転じ、それぞれ13.6%増、13.9%増となった。また、電気機器も、重電機器（2.7倍）などが伸びをみせ、全体として22.0%増となった。一方、一般機械は、同分類の主力品目であるポンプ・遠心分離機（10.2%減）、原動機（17.9%減）などの減少をうけ、全体で9.9%の減少

表3 日本の対サウジアラビア主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位: 100万ドル、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2020年		2021年			2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
輸送用機器	2,624	2,964	66.3	12.9	鉱物性燃料	17,623	26,267	95.6	49.0
自動車	2,435	2,767	61.9	13.6	原油および粗油	17,138	25,201	91.7	47.1
乗用車	1,995	2,267	50.7	13.6	化学製品	317	537	2.0	69.8
バス・トラック	439	500	11.2	13.9	有機化合物	214	411	1.5	92.4
自動車の部品	176	185	4.1	4.8	原料別製品	181	328	1.2	81.0
一般機械	490	441	9.9	△9.9	非鉄金属	178	325	1.2	82.8
原動機	119	98	2.2	△17.9	原料品	232	303	1.1	30.9
ポンプ・遠心分離機	164	147	3.3	△10.2	非鉄金属鉱	105	79	0.3	△24.5
荷役機械	51	42	0.9	△17.4	合計 (その他含む)	18,385	27,481	100.0	49.5
加熱用・冷却用機器	12	11	0.2	△9.3					
原料別製品	731	599	13.4	△18.1					
鉄鋼	363	217	4.9	△40.1					
ゴム製品	157	165	3.7	5.7					
織物用糸・繊維製品	126	130	2.9	3.5					
電気機器	136	166	3.7	22.0					
合計 (その他含む)	4,229	4,473	100.0	5.8					

[出所] 財務省「貿易統計」(通関ベース) をドル換算

となったほか、原料別製品も、最大品目の鉄鋼が40.1%減となったことなどをうけ、全体で18.1%の減少となった。

輸入は、前年比49.5%増の274億8,100万ドルとなった。輸入額の91.7%を占める原油および粗油は、数量ベースでは前年比2.2%減となったが、金額ベースで47.1%増となり、油価の上昇がそのまま輸入額の伸びにつながった。

■日本企業はエネルギー部門以外で新たに進出

2022年6月時点の進出日系企業数は96社（代理店への駐在員派遣を含む。ジェトロ調べ）。2021年4月にアステラス製薬が、いわゆる駐在員事務所に相当するTSOステータスのオフィスをリヤドに設立したことに続き、2022年2月には医療検査機器販売のシスメックスが現地法人を設立し、医薬品・医療機器分野での進出が続いた。また、2021年11月にはヤマハが代理店を通じてサウジアラビア初となる音楽教室を開校した。

進出済みの日系企業では、日立ABBパワーグリッドがサウジアラビア電力公社ならびにエジプト電力公社から、両国をつなぐ大規模高圧直流送電（HVDC）システムを受注したことに続き、日立レールが2022年1月、プリンセス・ヌーラ大学と、同大学内の自動運転メトロシステムの運用・保守契約を締結した。

主要経済指標

	2019年	2020年	2021年
①人口：3,411万人（2021年）			
②面積：214万9,700km ² （2021年）			
③1人当たりGDP：2万3,507米ドル（2021年）			
④実質GDP成長率（%）	0.3	△ 4.1	3.2
⑤消費者物価上昇率（%）	△2.1	3.4	3.1
⑥失業率（%）	12.0	12.6	11.0
⑦貿易収支（10億サウジ・リヤル）	455	180	512
⑧経常収支（10億サウジ・リヤル）	143	△ 86	166
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	499,143	453,208	454,984
⑩対外債務残高（グロス）	n.a.	n.a.	n.a.
⑪為替レート（1米ドルにつき、 サウジ・リヤル、期中平均）	3.75	3.75	3.75

〔注〕①③⑤⑦⑧：2021年は推計値、⑥：サウジアラビア人のみ（各年ともに第4四半期値）、⑦：国際収支ベース（財のみ）
〔出所〕①⑥：経済企画省総合統計庁、②：世界銀行、③⑤⑨⑪：IMF、④⑦⑧：サウジアラビア中央銀行

（お問い合わせ先）

海外調査部 中東アフリカ課

ORH@jetro.go.jp